

2022年8月3日

No, 20228001

リガク北米統括持株会社 Rigaku Americas Holding, Inc.および
Rigaku Americas Corporation の社長に
Kent Heath 氏が就任

X線分析・測定・検査機器のトップメーカーである株式会社リガク（本社：東京都昭島市、以下「リガク」）は2022年8月3日、リガク北米統括持株会社の Rigaku Americas Holding, Inc.および Rigaku Americas Corporation の社長に Kent Heath 氏が就任したことを発表しました。

Heath 氏の前職はBruker Corporation（ブルカー）のトライボロジー／スタイラスプロファイラー／光学計測機器事業ユニットのVP部長であり、それ以前はナノ表面計測事業ユニットの戦略的マーケティング担当VPでした。同氏は、半導体、ネットワーク機器、分析デバイスの分野で30年以上の経験があり、かつてモトローラ社の半導体部門で勤務した10年間で、日本における無線事業の再生を主導しました。同氏の強みは、強力かつ精鋭のチームを構築し、検査測定機器、無線ネットワークング、高性能半導体などの幅広い業界で商業的成功を推進してきた実績です。

株式会社リガクおよびリガク・ホールディングス株式会社の代表取締役社長の池田俊幸氏は、「Heath 氏がリガクに加わったことを非常に嬉しく思います。リガクの最先端の分析機器をより広い市場に提供するためのグローバル・チーム構築には、彼の能力と経験が大いに役立つと信じています。」とコメントしました。

Heath 氏は「リガクがこれまで培ってきたX線分析の豊富な分析ソリューションの経験は、北米及び南米における今後のビジネスをさらに成長させる可能性があります。リガクのグローバル・チームで協力しあい、新たな段階への成長に貢献できることを楽しみにしています。」とコメントしました。

Rigaku Americas Holding, Inc. (RAH)について

リガク・ホールディングス株式会社の子会社である RAH は、北米におけるリガクの事業を統括するために2014年に設立されました。主な子会社は、Rigaku Americas Corporation（テキサス州）、Applied Rigaku Technologies, Inc.（テキサス州）、Rigaku Innovative Technologies, Inc.（ミシガン州）、Rigaku

Reagents (テキサス州)、Newton Scientific, Inc. (マサチューセッツ州) および Rigaku Analytical Devices, Inc. (マサチューセッツ州)などがあります。

リガクについて

1951年の創業以来、株式会社リガクはX線と熱分析をコア技術に持ち、分析機器と工業用機器の最先端技術を提供してきました。今日、リガクグループは、国内のみならず、アメリカ・ヨーロッパ・中国を始めとした世界各地の拠点をベースに、汎用X線回折（XRD）、薄膜分析（XRF、XRD、XRR）、蛍光X線分析（TXRF、EDXRF、WDXRF）、小角散乱分析（SAXS）、蛋白・低分子X線結晶構造解析、ラマン分光分析、X線光学素子、半導体検査（TXRF、XRF、XRD、XRR）、X線発生装置、CT スキャン、非破壊検査、熱分析の各分野において先進的な役割を担っています。X線とその周辺技術の膨大な知見を強みとして、お客様との協業関係を築き、学会や産業界を通して、グローバルにパートナーシップ、コミュニケーション、イノベーションを促進してきました。蛋白構造解析、ナノテク開発、汎用X線回折（XRD）、蛍光X線分析（XRF）、材料分析、品質保証を含む多種多様な分野に向けて、統合されたソリューションを今後も引き続き提供してまいります。

詳しくは、<https://japan.rigaku.com/ja> をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

本件に関するお問合せ先

株式会社リガク

営業本部広報宣伝課 内匠 優理香

info@rigaku.co.jp